

衛生化学 I (公衆衛生) Hygienic Chemistry I

生命：D1-03312MS

衛生科目 3 年／前期 1.5 単位 選択必修科目

科目責任者 赤沢 学(公衆衛生・疫学研究室)

■教育目的

人々(集団)の健康と疾病の現状及びその影響因子を把握するために、保健統計と疫学に関する基礎的事項を習得する。また、生活習慣病対策、感染予防、母子保健、高齢者保健、地域保健など、健康増進並びに疾病予防について、正しい知識と技能を身に付ける。臨床検査技師に重要な知識の学習も含まれる。【卒業認定・学位授与の方針：SD-③、SD-④】

■学習到達目標

1. 保健統計の意義、指標、変移、情報入手について正しく理解する(知識・技能)
2. 疫学データ並びに分析手法を学び、リスク評価ができるようにする(知識・技能)
3. 健康増進・疾病対策についての関連法規、実務を理解する(知識)

■準備学習(予習・復習)

予習：教科書や講義資料を確認し、小テストの対策を行う(30 分)

復習：保健統計や疾病対策等について、最新情報を確認しておく(20 分)

■授業形態

課題解決型学習、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBO コード
1	公衆衛生の意義	授業の進め方説明、健康の概念、予防の概念	D1(1)-①-1
2	人口統計と健康水準 1	人口静態統計	D1(1)-②-1～3
3	人口統計と健康水準 2	人口動態統計、死因統計	D1(1)-②-1～3
4	人口統計と健康水準 3	疾病・障害統計	D1(1)-②-1～3
5	人口統計と健康水準 4	疾病・障害統計	D1(1)-②-1～3
6	疫学と疫学的分析法 1	疫学とは、三要因、因果関係	D1(1)-③-1～4
7	疫学と疫学的分析法 2	疾病・死亡の指標、疫学の効果指標	D1(1)-③-1～4
8	疫学と疫学的分析法 3	疫学研究のデザイン	D1(1)-③-1～4
9	疫学と疫学的分析法 4	誤差、バイアス	D1(1)-③-1～4
10	健康の保持増進と予防医学 1	健康日本 21、生活習慣病対策、がん対策	D1(2)-①-1～2 D1(2)-③-1～3
11	健康の保持増進と予防医学 2	感染予防	D1(2)-②-1～4
12	健康の保持増進と予防医学 3	母子保健、学校保健、産業保健、国際保健	D1(2)-④-1～2 D1(2)-⑤-1～2
13	健康の保持増進と予防医学 4	高齢者保健、在宅医療	D1(2)-③-1～3
14	衛生行政 1	多職種連携とチーム医療	A(4)-①-1～3
15	衛生行政 2	地域保健	B(4)-②-1～4

■授業分担者

赤沢 学

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

講義資料を MY-CAST にアップロードし、随時質問等に応じる

理解度を定期的に確認するために小テストを実施し、その内容について解説する

成績評価方法：授業への積極的参加と小テスト(20%)、期末試験(80%)で評価する

■教科書

「公衆衛生がみえる 2024-2025」メディックメディア社

■参考書

「厚生労働白書」 厚生労働省

「国民衛生の動向」 厚生労働省